

創刊40周年 記念企画

ふるさとにエール 10年後の綾部へ向けて

あやべ市民新聞、創刊40周年おめでとうございます！
一言で40年と言うよりも、創刊されてから5800号を超えるというすごい情報量をこれまでに発信されてきたことに感謝し、感動しています。



楽を通して社会に貢献できたことはとても恵まれた人生だと思いましたが、しかし自分が望むように生きてきた半面、ある時から日本の文化について

大切なものが全てある綾部

音楽家 屋敷豪太 (61) 京都市在住

余りにも無知な自分に打ちのめされ、日本人として英国に居るのが恥ずかしいくらいになりました。

加えて度々その頃、尊敬するある英国のアーティストから日本人であるが為に無視されたこと(恐らく彼の親族を戦争で亡くされたのかなど後から思いましたが)などもあり、自分をもっと完成させるには「日本をもっと知らなければ」と思うようになりまし

た。これまでの人生において、自分自身が達成したいことを追求し、自分の可能性を最大限に引き出し、自分が出来ること、すなわち音

楽を通して社会に貢献できたことはとても恵まれた人生だと思いましたが、しかし自分が望むように生きてきた半面、ある時から日本の文化について

がしました。幸い日本に戻る機会も増え、帰国時に日本の親友にその話をしながら和食！その時、僕の中で明らかになった。この繊細な味付け、出汁など世界最高峰の食文化がある国に生まれた幸せに改めて気づき、それがこれからは僕なりにこれまでの経験を活かして、日本で生きて行くことが僕の生き甲斐なんだと確信しました。そして日本に戻り、綾部にも度々帰って来るようにもなり、綾部には大切なものは全て揃っていると感じます。



らそっこので、都会が一見便利に見えて、何も手に入らないと思込む都合のいい自分がいっぱいですね。ただし都会の良い部分もあり、仕事に打ち込み、そのついでにまともな友達に会ったりしています。演劇やコンサート、美術館など芸術に触れたり新しいものを見たり聴いたりすることは大事だと思います。つい最近までのコロナ禍での暮らしの変化、インターネットなどデジタルの進化も含めて、今や田舎が最先端で人間として健康的に暮らせる場所になっていきました。

お金を儲けることだけが全てではなく、自分で食べるものは自分で作るなどして体を動かし、ジムに行く代わりに、自分のために暮らしを良くする生活が本当の人間らしい姿なのではないでしょうか。

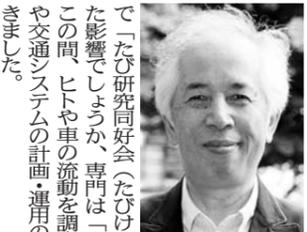
それにはこの綾部が最も適した場所だということを感じています。あやべ市民新聞創刊40周年へのお祝いの言葉として贈らせていただきます。

世界のような景色が広がる場所が沢山あつても、もちろん英国や他の国にお話のよくな場所は沢山ありましたが、綾部ほど恵まれてはいないと気がきました。それは、地球上における位置関係による気候や土壌も理想的だからです。

僕が子どもの頃には感じていて、大人になって忘れてしまっていた。もしくはそれが当たり前となってしまう、とだけ素晴らしい場所だったのかということに残念ながら

持続可能な交通システムを

システム科学研究所長 朝倉康夫 (66) 東京都在住



1975年に綾部高校を卒業した後、京都、松山、神戸、東京と移り住みました。綾部で「たけなご研究同好会(たけなご)」をやっていた影響で、専門は「交通工学」です。この間、ヒトや車の流動を調査・分析する方法や交通システムの計画・運用の方策を研究してきました。

昨年3月に東京工業大学を定年退職後、交通計画や都市・地域計画に関するシンクタンクである一般社団法人システム科学研究所(京都市)にも籍を置き、研究成果を実務に生かすことが大事な役目になってきました。私達が暮らしている中で、衣食住に加えて交通が重要な要素であることは、昔も今もそして将来も変わりません。ヒトやモノが安全・円滑に移動・輸送されて地域での生活や産業が成り立ちます。10年後の綾部の交通システムを考えたときに、クルマが道路を使うという状況は今と同じです。ただ、個人が自家用車を保有して自分や家族のために使うという形態は少し変わるかもしれません。

将来、自動運転のクルマが使えるようになれば、それを個人で保有して管理するよりも地域社会がクルマを共有(カーシェア)して皆で相乗り(ライドシェア)して使うほうが個人にとっても社会にとっても合理的である可能性が非常に高いです。自動運転車がないとしても、少ない数のドライバーが、個人が所有するよりも少ない数のクルマを効率的に動かして、地域のモビリティを確保する仕組みを考案することは可能です。綾部はひびく頃はヒッチハイクで旅行することを愛していましたが、大人のヒッチハイクという、上手なクルマの使い方を考えるということでしょうか。

自分でクルマを運転しない人が増加してもその人々の生活の質を落とさないこと、地域に合った身の丈にあった持続可能な交通システムであることが求められています。移動販売車や往診のように、こちらから出かけて行くのではなく、モノやサービスがやって来る交通も今後ますます重要になるものと思います。

どのようなシステムが実現可能でそのためには何が必要なのか、地域に住み働く人々が一緒に考えていく必要があると思います。

略歴 1956年生まれ。システム科学研究所所長、東京工業大学名誉教授、神戸大学名誉教授。綾部市延町出身。

綾部を世界人の故郷に

弁護士 田中彰寿 (73) 京都市在住



私の子どもたちは製造業の全盛期で、日本全体が潤っていた。綾部はグンゼをはじめとするセーリーの全盛期で、私の通学した綾部高校は1学年13クラスもあつた。

あの頃、自分の未来を思ったことあつたが、綾部の未来を思ったことがなかった。思わぬまでも活力ある綾部だった。それでも父は綾部の未来を見据えていたのだろか、綾部を出ると言い続けた。私がいまだに綾部にかかわり続けているのは、その父と私の思いの葛藤であらう。

当然ではあるが、父と私には綾部の将来を見通せなかった。自分の未来を切り開くこととする決意があつても、綾部の未来を切り開くこととする決意はつかなかつた。何もなせなかつたことについては故郷・綾部に対して憎恨たる思いはあつた。

翻つて綾部の全盛期を作った産業は、グンゼをはじめとする繊維産業であらう。波多野鶴吉氏を



はじめてする当時の人の決断と力量にはひれ伏す思いがある。ならば、綾部の未来に何が提言できるだろうか。波多野氏は思つたはずだ。綾部にでもできること、世界に打つて出る企業とする。今はないかもしれないが、このネット時代。この静かな、空気のいい綾部から世界に打つて出る業

務はあるはずだ。それを求めて世界中から有用な人材がやってくる。外国人居住者が跳ね上がった。そうしたシステムを綾部全体で作ることだと思つた。

綾部の若者に社会システム作りを期待
今では、そのために必要な社会的システムはほぼ想像がつく。すでに実行している村や町もある。綾部にいる若い人たちが、自分の仕事にとらわれずに考え実行することだ。

そのための応援団の人材は綾部外にあまたいる。せめて綾部で育ててもらつた恩返しに、少しでも微力を尽そうではないか。そして綾部を世界人の故郷にしようではないか。

略歴 1950年生まれ。弁護士。京都市西京区在住。

祝 あやべ市民新聞 創刊40周年

(順序不同)

近畿税理士会

福知山支部
会員一同

岡田税理士事務所

税理士 岡田博
事務所 福知山市内六丁目北五の二
TEL 0773-224713 三番
FAX 0773-224713 三番
0773-224713 一八九六番
手紙・電話対応いたします

公益社団法人 福知山納税協会

会長 中川幸紀
副会長 上田浩二
松田英治
船越英一
足立修一
日下英成
船越英一
松田英成
船越英一
足立修一
日下英成

綾部防犯協会

会長 材木正己
副会長 山下信幸
副会長 仲江文男

日本郵便株式会社

(綾部市内郵便局)

豊里郵便局長 梅垣正毅
綾部大島郵便局長 芦田敏隆
綾部岡安郵便局長 川崎悟志
志賀郷郵便局長 脇坂輝幸
奥上林郵便局長 大槻直人
山家郵便局長 田邊真実
綾部本町郵便局長 荏林真
八津合郵便局長 浦上茂徳
梅迫郵便局長 小川知也
口上林郵便局長 山本式晃
物部郵便局長 諏訪雅俊
吉美郵便局長 四方敏行
綾部郵便局長 菅原敏行

株式会社 福知山中央 保険事務所

三井住友海上火災保険
三井住友海上あいおい生命代理店
〒620-0051 福知山市昭和町182番3
TEL 0773(23) 1009
FAX 0773(24) 1308
f.chuou@wind.ocn.ne.jp
手紙・電話対応いたします

税理士法人 エム・エイ・シー 京都

公認会計士 税理士 八田泰孝
公認会計士 税理士 四方宏治
公認会計士 税理士 山田洋平
税理士 芦田宏美
税理士 井上直樹
税理士 長田朋子
税理士 メンバー一同

京都事務所 〒604-8223 京都市中京区新町通三条上ル
新町ビル三三〇一号
TEL 075-221-1181
FAX 075-221-1181
綾部事務所 〒623-0021 綾部市本町二丁目五番地の二
TEL 0773-224713 三番
FAX 0773-224713 三番
丹波事務所 〒669-3300 丹波市柏原町八〇番地二
柏原セシルビル
TEL 0795-721-561

綾部市金融協会(順不同)

京都銀行綾部支店
支店長 中村俊治
京都丹の国農業協同組合
代表理事組合長 迫沼満壽
京都信用保証協会中丹支所
支所長 松永和久
綾部商工会議所
会頭 材木正己
京都北都信用金庫
理事長 藤原健司

創刊40周年おめでとうございます
地域とともに歩む

JA京都にのくに

京都丹の国農業協同組合
〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田20番地
TEL 42-2092 FAX 43-2092
URL: https://ja-kyotoninokuni.or.jp
Eメール: ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp
代表理事組合長 迫沼満壽
役員 一

この地にまいりましてから13年余。寄稿依頼をいただきまして、まず頭に浮かんだのが鴨長明の方丈記の書き出し「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と栖と、又かくのごとし」でありました。

「小自在」コンパクトシティの実現

梅原 陽介 (79) =兵庫県姫路市在住
P&C創研主幹 元・綾部商工会議所専務理事



姫路市の八代大蔵神社に奉納する十二支の絵馬を描いています

でもなく、街全体がその2社に依存ありきていたのでしょうか。もちろん、工業団地の進出や大手企業の誘致は、綾部の活性化に大いに寄与していただいたのは確かです。では10年先を考えると、私見で恐縮ですが、人口は2万5千人前後、平均年齢は58歳前後、労働年齢は61歳前後、高齢者割合は5割近くになっていくと予測できます。

綾部の団体などの広報のいずれもが「繊維工業の街」とあります。本場にそつなでしょうか。G社とN社の創立以来、それ以上でもそれ以下



「見えないお金」捨てない経済▽バーチャル&リアル認識▽学び続ける努力▽遊ぶ・働く・学ぶ。その結果、見えてきたのが農業でありました。

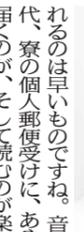
思い出詰まる素晴らしい街

安城 志紀 (北海道在住)
作詞、作曲家 ポーカリスト



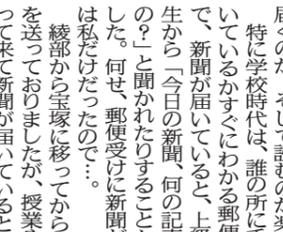
あやべ市民新聞創刊40周年、おめでとうございます。どうもありがとうございます。

この方々のお陰で今まで歌い続けて来られました。本当にありがとうございます。



あやべ市民新聞創刊40周年、おめでとうございます。

綾部から宝塚に移ってからは、忙しい日々を送っていましたが、授業やお稽古から帰って来て新聞が届いていると、夜に故郷の様子を隅から隅までワクワクとした気持ちで読ませて頂いていました。



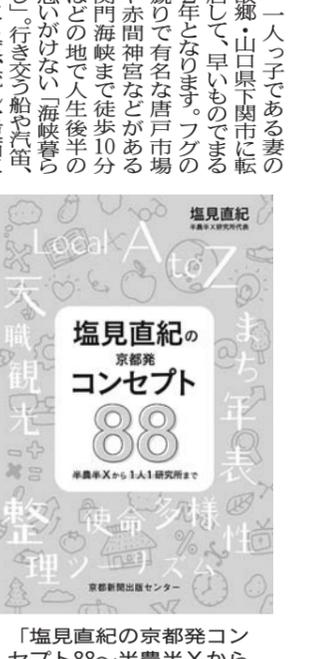
綾部から宝塚に移ってからは、忙しい日々を送っていましたが、授業やお稽古から帰って来て新聞が届いていると、夜に故郷の様子を隅から隅までワクワクとした気持ちで読ませて頂いていました。

綾部から宝塚に移ってからは、忙しい日々を送っていましたが、授業やお稽古から帰って来て新聞が届いていると、夜に故郷の様子を隅から隅までワクワクとした気持ちで読ませて頂いていました。

綾部から宝塚に移ってからは、忙しい日々を送っていましたが、授業やお稽古から帰って来て新聞が届いていると、夜に故郷の様子を隅から隅までワクワクとした気持ちで読ませて頂いていました。

未来の種まきと新たな編集と

塩見直紀 (58) =山口県下関市在住
一人っ子である妻の故郷・山口県下関市に転居して、早いものでまる2年となりませう。



「塩見直紀の京都発コンセプト88〜半農半Xから1人1研究所まで」

今年に拙著「半農半Xという生き方」が世に出て早いもので20年となります。そんな節目にあり、昨春よりこれまでの思索を時系列でまとめた本を書いております。

「胃袋で活性化をつかむ」。前述の2つの実現は、地域活性のベースである関係人口や定住人口、交流人口を束ねる可能性を内在していると思っております。

私の場合にはたまたま音楽の道ですが、他にも様々な世界があります。大自然に囲まれた綾部などでは、農業も期待される所です。実際私も、音楽をやりながら農業がやりたいと今でも思っています。



ふるさと綾部の10年後のためには、市民みんなが自分のなかに眠るユニークな種をまいてみる。

来週以降に続く

祝 あやべ市民新聞 創刊40周年

office-KJH
Kyoto Jimuki Hanbai Limited

【取扱品目】
OA機器(コピー機・パソコン他)
オフィス家具・家電製品・事務用品・遊具
駐車場管理機器・WEBページ作成・他

オフィスプラント・トータルカウンセラー
有限会社 **京都事務機販売**

代表取締役 水間 信成

〒620-0062
京都府福知山市和久町139-3
TEL (0773) 23-5443
FAX (0773) 23-0444

レンタルおしぼり
レンタルマット

株式会社 葵商会
綾部営業所
綾部市新庄町八田古8-1
TEL 0773-49-1511
FAX 0773-49-8033

一般貨物輸送

株式会社 SKLINE
(株) エスケーライン

綾部市豊里町福垣255番地の1
TEL(0773)48-0204(代)
FAX(0773)48-0951
京都市南区久世中久世町3丁目77
TEL(075)933-1411(代)
FAX(075)933-1414

住友理工ホーステックス

人・社会・地球の安全・安心・快適に貢献します

主要製品：高圧ホース搬送ホース等、各種産業用ホース

代表取締役社長 蛭川 広一

623-0117 京都府綾部市とよさか町1番地
TEL:0773-40-5250 FAX:0773-40-5251

創刊40周年おめでとうございます

スーパー 仲江オート

個人・法人OK!全メーカーOK!
車検・税金・メンテナンス

5年 7年

スパルショップ綾部
(有) **仲江オート**
代表取締役社長 仲江 紀人

綾部市栗町内沼34
TEL 0773-48-0025 FAX 0773-48-0030

創刊40周年おめでとうございます

あらゆる印刷のご相談は

毎日新聞大阪センター

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 (毎日新聞ビル)
TEL:06(6346)8457 FAX:06(6346)8263

(有) **柳田印刷所**

綾部市青野町上入ヶ口46
TEL 0773-42-1100
FAX 0773-42-1100

Nakao
有限会社 中尾鐵工所

メタルビル 建築 指定施工店
WB HOUSE 指定施工店

総合建設業
宅地建物取引業
一級建築士事務所
綾部市下水道公認
浄化槽工事公認

綾部市宮代町宮代1番地
TEL 42-1630 FAX 42-2826
E-mail nakaop-k@themis.ocn.ne.jp
https://ayabe-nakao.com/

祝 創刊40周年

住環境サポート企業
——家づくり・幸せ創りのお手伝い

住まいを未来する
株式会社 ウエハラ

本社 〒623-0221
綾部市位田町岩井63
TEL (0773) 48-1088